

第2章
3
施策領域

施策

地域共生社会

あるべき姿(概ね30年後)

- 県民誰もが、性別^{※1}、年齢、障害の有無、民族、国籍などの多様性を認め合い、支え合いながら自分らしく活躍でき、安心と活気あふれる共生のまちづくりが進んでいます。

目指す姿(5年後)

県民は、地域コミュニティへの参画や地域活動への参加の機会を得て、地域とのつながりを強め、多様な主体との協働による見守り合いと支え合いが生まれ、安心して暮らしています。

「住民間」、「住民と専門職」、「専門職間」等が連携・協働する場や仕組みがあり、日常生活上の困り事を抱える方々が早期に発見され、相談を漏らさず受け止め、課題の解決につながっています。

県民の障害に対する正しい理解が進み、障害特性に応じた総合的な支援が行われることで、障害者とその家族が、地域社会の中で安心して暮らしています。

外国人が地域社会の一員として、地域とつながりを深めながら、生活に必要な情報の共有が進むことにより、外国人が困ったときに相談できるなど、孤立することなく安心して生活しています。

地域において困難な状況にある女性やDV被害者等への支援体制が整備され、暴力や生活への不安なく、安定して自立した生活をしています。

人権意識や男女共同参画意識を高める啓発を受ける機会が広がり、個々人の性別、年齢、障害の有無、民族、国籍などの様々な違いを認め、尊重し合う意識が醸成されています。

個々人の違いを尊重し互いに支え合う環境が整うことで、県民が安心して生活するとともに、それぞれが持つ多様性を強みに転換しながら、地域社会で自分らしく活躍しています。

※1 性別には、身体的な男性と女性の区別だけでなく、自分の性別に対する認識である「性自認」(「心の性」とも言われる。)や、恋愛や性愛の対象となる性である「性的指向」などの概念も含む。

指 標

困りごとや悩みに対して 地域の方同士での助け合いが できている人の割合	ビジョン策定時点 (R2)の現状値 — ※1	現状値 23.5% (R6)	5年後の目標値 (R12) ▶ 57.0%
目標設定の考え方 様々な困りごとや悩みを、住民と多様な主体が連携・協働して解決できる環境は、安心な暮らしにつながると考えられることから、県民アンケート(R6)における「困りごとや悩みに対して地域の方同士での助け合いができている」という設問で「あまりそう思わない」(33.6%)と回答した層を「思う」層に引き上げることを目指して設定した。			

「広島県は、お互いの人権を 尊重し合うことができている」と 感じる人の割合	ビジョン策定時点 (R2)の現状値 32.4% (R2)	現状値 36.0% (R6)	5年後の目標値 (R12) ▶ 42.0%
目標設定の考え方 多様性を認め尊重し合う意識が県民に醸成されることを目指し、類似の調査を実施している他県の5年間の上昇幅を参考に目標を設定した。			

※1 回答者の年齢構成などの偏りを少なくするため、R4にアンケート手法を見直し <参考>見直し前のR1当初値 48.3%

- 目指す姿の実現に当たって考慮すべき課題
- 地域住民が抱える課題は複雑化・複合化していることから、住民と専門職、多様な主体が連携・協働し、地域の生活課題を早期に発見し、支援につながる仕組みを構築する必要があります。
 - 障害に対する無意識の偏見や思い込みが依然として存在していることから、子供世代から障害に対する理解を深めていくなど、障害者とその家族が安心して暮らせる環境を整備する必要があります。
 - 国内の人手不足を背景とする外国人材の受入促進などによる、更なる外国人の増加を踏まえ、これまで以上に外国人と地域がつながりを深め、社会的な孤立を防ぐ必要があります。
 - 困難な状況にある女性やDV被害者等は、他人に相談することに不安や抵抗感がある場合が多く、相談機関につながりにくい状況にあるため、早期かつ継続的に支援を受けられる仕組みを整備していく必要があります。
 - 多様性を認め、それぞれの違いを尊重し合う意識が必ずしも十分に浸透していないこと、また、固定的な性別役割分担意識やアンコンシャス・バイアスが存在していることから、誰もが生き生きと生活できる環境づくりを促進する必要があります。

目指す姿の実現に向けた取組の方向

① 住民と多様な主体の連携・協働による課題の解決

地域の生活課題を住民から専門職、関係機関につなぎ、必要な支援が受けられる「重層的なセーフティネット」の構築を進めます。

② 障害者とその家族が安心して生活できる環境整備

障害者への関わり方や特性について理解するだけでなく、行動に移せるよう、学校等と連携し、障害者との触れ合いや対話の機会を設けるなどの取組を推進します。また、保健・医療の充実や地域生活の支援体制の構築を進めます。

③ 外国人が安心して生活できる環境整備

外国人と地域住民の双方が、安心して生活できる共生の仕組みづくりや、医療・防災・教育などの様々な分野で安心できる環境の整備を進めます。

④ 困難な状況にある女性等への支援体制の確保及びDV防止対策の充実

困難な状況にある女性やDV被害者等が、早期に相談支援につながるよう、相談窓口の周知・啓発に取り組むとともに、DVや性暴力の減少に向け、DV防止対策等の充実に取り組みます。また、自身の意思を尊重されながら継続的に支援が受けられるよう、関係機関が連携して支援を行う体制づくりに取り組みます。

⑤ 多様性を認め、それぞれの違いを尊重し合う環境づくり

個々人の性別、年齢、障害の有無、民族、国籍などの様々な違いを認める正しい知識を周知するとともに、その違いを尊重し合う意識の醸成を図ります。

重点項目に関する主な取組

- 困難な状況にある女性やDV被害者等が、暴力や生活への不安なく、安定して自立した生活ができるよう、相談窓口の周知・啓発に取り組むとともに、自身の意思を尊重されながら継続的に支援が受けられるよう、関係機関が連携して支援を行う体制づくりを進めます。

